

発行所  
 日本聖公会 東北教区  
 仙台市青葉区国分町2-13-15  
 TEL 022-223-2349  
 FAX 022-223-2387  
 URL <http://nssk-tohoku.com/>

10月に人生初の入院をしました。左掌に瘤状のもので、関節や腱を滑らかに動かすための滑油が溜まる「ガングリオン」という腫瘍だろうと思えばらく放置していましたが、人差し指と中指にしびれや痛みがおこりだしました。右手は使えるのですが仕事や生活にも支障をきたすようになり受診したところ、「血管腫」という腫瘍であることがわかりました。良性腫瘍でしたが、痛みなどは神経が圧迫されているからということ、手術を受けることになりました。手術時間は2時間ほどでしたが総延長(?)約10センチほどメスがに入ったので、家に帰ってから大量の出血があつてはまずいからと1泊入院となりました。いつ退院できるかわからないということではないので、入院とはいってもそれほど緊張することは

シリーズ「東北の信徒への手紙」  
**神は人を自分のかたちに創造された。**  
 (創世記より)  
 司祭 ステパノ 涌井 康福

もう高齢者の域に達しており、今回も術後に運転ができずに多くの方にご迷惑をおかけしてしまいました。改めて自分のためばかりではなく、体は大事にしなければいけないと思わされた経験でした。

話は過去に飛びますが、牧師になる前に働いていたところは教会関係の保育園で、保育士の約8割が信徒という職場でした。様々な教派の方が在職していましたが、その中には福音派の方もいて、職員旅行などでアルコールが出てきても口にすることはありませんでした。聖公会では、牧師もお酒を飲んだり、タバコを吸う人がいることに驚いていました。が、ことあるごとに「神様から与えられた体を傷ついたり、汚したりしてはいけない」と教えられている」と話していました。聖公会の面々は「ずいぶん厳しいね」とか「イエス様だって飲んでたんだよね?」とかささやいていました。が、食物規程のようなものは別として「神様から与えられた体・命」ということは教



自由な状態です。入院されていた方たちはこういう視点で訪れた私たちを見ておられたのだと、少しだけですがその気持ちがあつた気がしました。

わたしは元来暢気すぎる傾向があり、不調を覚えてもすぐに受診することはありませんでした。しかし気が付けば

「なぜ人を殺してはいけないのか」という少年からの疑問に対して、答えに窮した大人がいたという話を聞いたことがあります。「法律で決まっているから」だけでは愛がありません。「神様がお与えくださった命だから」という答えも、すぐには受け入れられないでしょう。それでもあきらめることなく、主の平和のために伝え続けることが信仰であり、宣教なのだと思います。

(秋田聖救主教会牧師)

## 新ヴァイアル山荘の1年とこれから

十和田湖畔施設活用グループ リーダー 司祭 フランシス 長谷川清純

10月30日午後1時、宣教主事越山哲也司祭司式により18名の参加者で2022年閉所式を献げて、ほぼ半年間の初年度シーズンを無事終了しました。以下、これだけはお伝えしたいご報告です。

①8月3日と9月4日、

青森県と秋田県は大雨洪水の大被害に遭いました。鉛山聖救主礼拝堂とヴァイアル山荘周辺も沢の土砂崩れと泥水の氾濫に襲われ、特にヴァイアル山荘は国道から山荘に下る坂道に被害が大きく、土がえぐられて3本の水路となり、建物本体にまで土砂が達しました。屋内への侵水がなかったのは幸いでした。9月23日、当グループと災害対応デスクと教育・保育グループ青年部門とがコラボレーションして水害復旧ボランティアが計画され、行われました。グループとデスクのメンバー、部門や八戸の若者たち総勢20名が集まり、えぐられて水路になった箇所を土嚢袋で埋め戻し、坂道入口と道路脇には土嚢袋を並べ、建物周辺を整地して復旧作業を完了しました。



ンを通じてウクライナのために献げました。

③5月から10月までのオープン期間の山荘利用実績は以下の通りです。利用回数8回(団体5、個人3) 延人数71名(大人55名、中学生2名、3歳〜小学生11名、乳幼児3名)。利用者からの主な声は以下の通りです。

◆夜には雲もなく、普段では見られないような満天の星空を見上げることが出来ました。周りに建物がないからこそまでの星が見えるんですね。子どもたちは星空と湖に入ったことがとても楽しかったようです。◆これまで利用していたコテージなどと違って、ゆったりと時間を気にせず過ごすことが出来ました。次は大館の家族と一緒に利用したいです。◆静かな環境で落ち着いて作業ができました。

その他利用者から備品等に関するいくつかのご指摘を受けた事項は改善し、また湖水が急に深くなる注意書きや関係者以外の侵入者防止対策を施し、湖側にあるテラスをコンクリート化しパーベキュー等火気に順応させました。改築1年目は何事につけま

トリアルでした。5月3日にはナザレ修女会の十和田の家から貴重な品々を沢山お借りして、その後も山荘で役立たせてもらっています。5月7日(土)の開所式前日には、使い勝手や装備品の過不足等調査を兼ねてメンバーでお試しお泊まり会をしてオープンに備えました。今年第2世紀を歩み出したヴァイアル山荘と、ちょうど時を同じくして

来年は、近くの和井内に複合型施設「十和田湖地区道の駅」がグランドオープンしますから利便性が増すでしょう。閉所後の会議で私たちも、多くの皆様にどしどしご利用していただけるよう、教区ホームページやパンフレットを活用しながら、企画をラインアップして利用促進に努めようと話し合っています。「ヴァ



リアルクラブ(仮称)」を足させて山荘のサポーターを募集し、維持に努めたいと考えています。会議中2度3度と湖面上に虹がかかり、まるで前途を祝福しているようでした。

### 第106(臨時)教区会 東北教区主教選挙報告

2022年11月3日(木)午後1時より、東北教区主教座聖堂仙台基督教教会において、第106(臨時)教区会が開催され、教区主教選挙が行われた。開会聖餐式、議会の開会、議場閉鎖の後に、選挙管理委員長から主教選挙についての説明があった。続いて候補者1名の推薦が行われ、履歴の紹介後、教役者議員8名、信徒代議員19名での東北教区主教選挙の投票が行われた。第1回の投票で、教役者議員票6票、信徒代議員票18票で、いずれも出席代議員の3分の2の得票を得、フランシス長谷川清純司祭の当選が確定した。

当選者のこれからの歩みと、教区の将来に、聖霊の導きがありますようにお祈りください。

## 2022日本聖公会人権セミナーに参加して

教区人権担当 司祭 ヤコブ 林 国秀

10月12日・13日、標記セミナーがオンラインで開催されました。今回は北関東東京の両教区が当番をお務めになり、「キリスト者と人権」草津から見えてくるもの」をテーマに52名の参加者を得て行なわれました。

セミナーの第1日目、第1セッション第1部では北関東

教区の松浦 信司祭(草津聖バルナバ教会・聖慰主教会牧師)の案内によりZoomを用いた映像で「草津とハンセン病の歴史と聖バルナバミッションについて」を視聴し、深い学びの時間が与えられました。草津は、古来より重い皮膚病や感染症に罹患した人々が集まる場所としてあり、時を経て1916年ついにコンウォール・リー氏が草津に定住され、これより聖公会の宣教とハンセン病患者救済事業「聖バルナバミッション」が開始されました。しかし国策により栗生楽泉園が設置され、

そして時代が移り変わり、特に富国強兵の施策が進む中で、ハンセン病の方々をお助けするための事業が隔離政策へと変遷し、ついには、ハンセン病を罹患した人々全ての人権侵害へと変わっていった歴史を知り、苦難を負わされた皆さんへの懺悔の気持ちを深く思わせられました。

第1セッション第2部は「重監房とクリスチャン」というテーマで国立重監房資料館の松浦志保学芸員(草津聖バルナバ教会信徒)から「ハンセン病の歴史」について学びました。国策の流れは、さらに人権を踏みにじる方向へと向かい、栗生楽泉園に「重監房」が設置されたというお話から始まりました。当時、ハンセン病を罹患した方々に対して、制度など無視される形で裁判が行なわれ、容赦なく重監房に閉じ込め、そこには多くのクリスチャンが含まれ、多くの方々が非業の死を

遂げられたことが記録されていることの説明を受けました。第1部同様に映像で説明を受け、見学した重監房は2014年に関係者のご尽力により再建されぜひ実際に訪れなくてはならないと思いました。

2日目は、東北教区にとつて、なじみの深い藤崎陸安さんの講演会「私の生きたハンセン病の歴史」が行なわれお話を聴きました。藤崎さんは全療協本部中央執行委員を2度にわたって計10年間、松丘保養園入所者自治会館長も8期8年お務めになられた経歴をお持ちです。①入所者の人権・尊厳の確立、人間回復②偏見と差別の一扫③入所者の医療・看護・介護関係の職員増員と確保に力を注がれ、「旧らい予防法」を廃し、人権を取り戻す運動に命を捧げられています。今回のセミナーで3人の皆さまからお話を伺い、さらに教会がこの人権を踏みにじられた人々の苦難を覚え、これからも寄り添い、関心を寄せ歩むことが求められています。心に心を新たにいたしました。

## 東日本大震災被災者支援プロジェクト報告

◆10月の地域活動 「お買い物支援バス」は毎週木曜日に4回開催し延べ18名が利用。「水曜喫茶」は12日(水)開催、参加者は13名で賑やかでした。第101回「広畑お茶会」は28日(金)開催、15名参加。本年12月をもって終了となります。

◆東京電力福島第一原子力発電所爆発事故後に制定された原子炉等規制法は、原発の運転期間を「原則40年、1回に限り20年延長」と規定しています。この現行制度の撤廃は、老朽原発の重大事故リスクを増大させる極めて大きな危険を伴うものです。福島原発事故の教訓を受容し、これ以上核のゴミを増やさず、放射性物質の安全な保管に専念し、次世代に負の遺産をこれ以上残さない道を選択すべきです。緊急署名用紙は配布済みです。ネットからも署名できます。  
<https://foejapan.org/issue/20221010/9607/>  
(リーダー 司祭 長谷川清純)

常置委員会報告  
(第12回・10月18日)

## ◆常置委員長報告

聖公会生野センター30周年記念感謝礼拝出席報告。管区から東日本大震災余震被害修復工事費用12,212,889円の支援決定報告。

## ◆協議事項

- (1) ヴァイアル山荘水害復旧作業協力参加者の経費補助について…災害支援資金から援助することを承認。
- (2) 東日本大震災余震で被災した教区内建物の修復工事費用について…各教会・施設の工事費用合計額と管区支援金の差額122,320円を教区災害支援資金から拠出することを承認。
- (3) 主教座聖堂(小聖堂)講壇用聖書購入について…仙台基督教会と主教座聖堂が折半で購入することを承認。
- (4) 教区諸規程改正について…提案された規程改正について、これを承認。
- (5) 第107(定期)教区会について…常置委員会関連議案について協議し、一部を除き承認。



「蜜ろうそくに  
火を灯して」

聖アルバン幼稚園  
園長 アグネス 成田 綾子

月に一度行われるお誕生会、コロナ禍において2年間、お家の方の参加を中止していましたが、今年度からはご出席いただき、子どもたちは自分の誕生月が来るのを、今か今かと心待ちにしています。

お誕生会の日、いつもは子どもたちが元気に運動したり走り回っているホールには、長座布団が敷かれ、音楽が流れる中、1人ずつ入堂します。そして十字架の前でお辞儀をし、礼拝の準備をします。誕生礼拝は長谷川司祭さま、また遠藤司祭さまに司式して

いただいておりますが、子どもたちはもちろん、お家の方、そして私たち保育者も、共に祈り、教話に耳を傾け、心を開く時、神様の大きな愛と恵みに包まれます。

礼拝後には、蜜ろうそくに火を灯して誕生月の子をお祝います。バスデーソングを歌い、みんなで誕生児の名前を呼ぶと、会場は静まり返り、そこにいる全員がろうそくを見つめる中、誕生児たちは互いを気にかけてながら、息を合わせて火を吹き消すので

お誕生会で使われる蜜ろうそくは、毎年、年長児がお家の方へのクリスマスプレゼントとして手作りする時に、一緒に作ってくれているものです。子どもたちは一人ひとり、ろうそくの芯を自分で持ち、蜜ろうを溶かした缶に垂らしては上げる作業を、それはそれは慎重に、何度も繰り返し返します。段々太くなっていくのが嬉しくてたまらない様子で、ニヤニヤしながらもお家の方を想い、またお誕生会の度に小さくなっていくろうそくの姿に思いを馳せながら、心を



こめて……。そんな光景を見るたびに思い出すのが「ろうそくものがたり」(作・藤本四郎)という紙芝居です。何の役にも立たず、部屋の隅で悲しんでいたろうそくが、台風之夜に暗闇を照らす光となり、誰かの役に立ったことに喜びを感じる……。3月には小さくなってしまってお誕生会のろうそくですが、子どもたちの手で作られ、役目を果たしたその小さな姿は、尊くもあります。これから子どもたちのろうそく作りは続いていきます。ろうそくものがたりと共に……。

「各教区拡大青年担当者の集い」報告

青年担当 セント・クリストファー 赤坂 聖天

11月3、4日、各教区拡大青年担当者の集いが東京で開催されました。今回の集いは来年開催が予定されている「全国青年大会」に関して、情報共有と会場の下見、そして「青年スタッフの顔合わせ」をメインに開催されました。

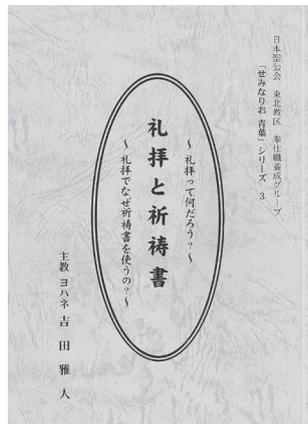
これまでの青年大会は、開催地の青年が実行委員となり準備を進めてきましたが、今回は延期が続いたこと、コロナ禍での開催にあたることから、管区の青年委員会が実行委員会となり計画・準備することとなりました。一方で、プログラムの計画や、当日のファシリテイトなどについて一部青年に協力が仰がれ、各教区より1名の「青年スタッフ」を輩出することが要請されました。東北教区からは仙台聖フランシス教会の青年に協力を依頼し、今回の集いにも参加しました。

初日のプログラム後、実際の大会時に宿泊予定のホテルの下見も兼ねて宿泊しました。

また翌日も、当日使用予定の会議室の下見、ホテルから会場への移動経路を実際に歩いてみるプログラムが組まれており、青年たちの中でも今後計画を進めていく上で具体的なイメージをつかむことができたのではないかと思います。その後は、青年と青年担当者がそれぞれ3つのグループに分かれ、青年大会のテーマの分かち合い、バイブルシェアリングが行われました。最後に当日のプログラムについて青年委員より問われると、たくさん意見が挙げられておりました。

短い時間の中でしたが、今後ともに協力していく青年同士、豊かな交流の時を持たてたのではないかと思います。大会は来年8月31日～9月3日に予定され、今回集められた青年スタッフが関わりながら計画が進められていきます。7年ぶりの青年大会が、青年たちにとってよりよいものとなるようお祈りください。

### 書籍紹介



「せみなりお青葉シリーズ3」を  
お届けします

奉仕職養成グループリーダー  
司祭 ヤコブ 林 国秀

奉仕職養成グループの働き  
の一つに「せみなりお青葉シ  
リーズ」の出版があります。  
私たちの信仰生活の実践と修  
養の一助とするために継続し  
て行っています。本シリーズ  
は、他教区の皆さんにも好評  
で幅広くお読みいただいでお  
り、感謝です。先日九州教区  
の執事さんからは、目の不自  
由な方のために点字翻訳をさ  
れたというお話も届きました。  
「せみなりお青葉」という  
名称は、かつて女性伝道師の  
養成と保育者養成を目的とし  
て多くの人材を輩出した「青  
葉女学院」に由来するもので  
す。2019年にはシリーズ  
1として加藤博道主教著『み

### 「主の祈りカード」のご案内

村上達夫主教による温かみのあるイラストが好評のポストカードです。1セット10枚500円(制作費・送料実費)でお譲りいたします。ご希望の方は教区事務所までお問い合わせください。



して励まし合うために』を、  
そしてこの度、吉田雅人主教  
著『礼拝って何だろう』『礼  
拝と祈禱書』の出版に  
至りました。

今回のシリーズ3は、聖公  
会の信仰の礎である「礼拝」  
と「祈禱書」を見つめ直すの  
に大変役立つ内容となってい  
ます。教会は礼拝を行うとこ  
ろだけでも、そもそもなぜ  
「礼拝」を行うの? 聖公会  
はなぜ祈禱書を用いて礼拝を  
するの? といったするどい  
切り口で、私たちをもう一度  
立つべき原点に引き戻してく  
れるような内容のテキストと  
なっています。まず手に取っ  
てお読みいただき、信仰の振  
り返りの書物として、あるい  
は、教会での学びの会で、ま  
た、洗礼志願者の手引きとし  
て、幼稚園の職員の学びの会  
等で豊かにお用いください。

### 礼拝堂探検隊

礼拝堂にあるいろいろなもの、  
その意味を調べてみました。

(第23回 サンクトゥス・ベル)



(サンクトゥス・ベル/仙台基督教会)

聖餐式の  
途中、司祭  
が感謝聖別  
の祈りを唱  
えている静  
寂の中で、  
突然チリン  
チリンチリ  
ンとベルが  
鳴り始めて驚かれたことはあ  
りませんか。  
あのベルのことを、私たちは  
「サンクトゥス・ベル sanctus  
bell 聖なるかなの鐘」と  
呼んでいます。それ以外に  
も「セイクリング・ベル seking  
bell 神聖な鐘」とか「オル  
ター・ベル altar bell 祭壇の  
鐘」という言い方もあるそう  
です。

このベルをサーバーが何の  
ために鳴らすのかといいます  
と、「聖餐式の中の特定の瞬間  
を強調し、会衆の注意を喚起

するため」なのです。「サンク  
トゥス・ベル」と呼ばれるの  
は、一同で唱える「聖なるか  
な、聖なるかな、聖なるかな  
万軍の神 主の栄光は天地に  
満つ」の「聖なるかな」のと  
ころで3回鳴らすからで、こ  
の習慣は十五世紀からだそう  
です。

もう一か所は、司祭が「主  
イエスは渡される夜」で始ま  
る聖餐制定語を唱える時で、  
「わたしを記念するため、こ  
のように行いなさい」と言っ  
て一礼した後、パンを高く掲  
げ、それをパテン(聖皿)に  
置いた後一礼する動作(ぶど  
う酒の時も同じ。この動作を  
エレベーションと言います)  
の時に、3回ずつ鳴らします。  
この習慣は十二世紀に始まっ  
たと言われています。

このような習慣は、中世の  
礼拝で用いられた言葉がラテ  
ン語だったため、一般の人々  
には何を祈っているのか理解  
できなかったたので、「ここは大  
事だよ」ということを知らせ  
るためだったのでしょう。  
ほかにも聖餐制定後を唱え  
る直前とか、司祭が陪餐した  
後、信徒が祭壇の前に進むこ  
とができる時を示すために鳴  
らすこともあるようです。

(教区主教)



### 八戸聖ルカ教会

10月16日は八戸聖ルカ教会の126回目の記念日として、聖ルカ祭を行いました。今年度で定年退職される吉田雅人主教様が巡回してください、「回復」についての心温まるお説教を聞かせていただきました。

いつもより多くの方が礼拝に出席され、共に教会と幼稚園のこれまでの御守りへの感謝、そしてこれからの歩みを覚えて祈った大きな祝福の日でした。

### 盛岡聖公会

ここ数年懸念されていた雨漏りがひどくなり、礼拝堂の屋根の修繕を実施することになりました。本当は屋根全体を補修したいところですが、この度は雨漏りの多いベストリー前とベストリー、チャネル側に鋼板を重ねて葺くこ

とになりそうです。外壁ではモルタルの剥がれなどもあり、将来を見据えた礼拝堂維持を真剣に考えなければなりません。

### 能代キリスト教会

10月9日に吉田主教様の巡回がありました。定年退職前の最後の巡回となりましたが、コロナで中止、延期続きでした主日礼拝を共にささげられ、信徒一同で喜びを共有しました。

ルカによる福音書の後の説教で、対立していたサマリア人とユダヤ人の交わりを回復させた功績についても触られました。現在起きてい無関心ではいられない紛争も、交わりの回復で解決できないかと考えながら拝聴しました。

### 山形聖ペテロ教会

10月30日、聖餐式後、李司祭司式により、当教会墓地にて逝去者記念礼拝が行われました。秋晴れの中、計16名の参加となり、共に祈り、また久し振りの再会の場でもあり、交わりの時を持つことができました。

昨年逝去された山本一重兄が、一人で除草、整備されていた当墓地は、その後複数名の有志により、整備、維持されています。墓地礼拝の祝福に満たされたひと時、感謝でした。+主の平安

### 聖ペテロ伝道所

今春から当伝道所では、第1土曜日、第3日曜日に聖餐式が献げられ、日常を取り戻しつつあります。おもちゃ図書館や、「水耀クラブ（おもちゃ図書館OB・OG、近隣の方など伝道所に関わりのある方々と信徒の集い）」も定期的に活動を始めました。

そんな中、以前伝道所にいらしたJさんがお父様と一緒に水耀クラブに立ち寄って、就職の報告をしてくれました。堂々と成長した姿に希望をもらい、良い時を過ごしました。社会に出てからの健康と活躍をお祈りいたします。

### 磯山聖ヨハネ教会

2年がかりで、信徒総出の手作り記念誌「磯山聖ヨハネ教会100年に寄せて」ができました。巻頭言に続いて

「11年前の大震災にまつわる出来事」「聖堂聖別6年目の事」「今年新地町災害避難所に指定された『祈りの庭』の事」「磯山と縁(ゆかり)のあった方々からの一言」「想い出のアルバム」「心に残った聖歌ベスト5」と続きます。ランソン先生の宣教開始から今年で102年。感謝の内に。

### 永遠の平安

オーガスチン 荒閑 正人  
ヨハネ 幸田 政継 (9月29日・青森)  
ルデヤ 野崎 富子 (10月12日・小名浜)  
マリア 村田 たか (10月28日・盛岡)  
(11月2日・盛岡)

12月逝去者記念聖餐式  
12月6日(火) 午前10時  
於 主教座聖堂  
司式 吉田 雅人 主教  
説教 吉田 雅人 主教

司祭 アタナシオ 笹森 伸兒  
2019年12月1日逝去  
宣教師 Miss Ethel H. Correll  
1920年12月5日逝去



- 司祭 イザヤ 櫻井 享 2010年12月6日逝去
- 伝道師 ヨハネ 土田 八九十 1924年12月8日逝去
- 司祭 ヤコブ 木村 光一 1979年12月9日逝去
- 宣教師 Miss Anna Theodora Wall 1917年12月12日逝去
- 司祭 John Cary Ambler 1946年12月13日逝去
- 主教 テモテ 中村 信蔵 1969年12月16日逝去
- 司祭 Frank Hasket Jr. Moss 1963年12月19日逝去
- 司祭 近重 利澄 1934年12月22日逝去
- 司祭 コルネリオ 斎藤 雄一 2017年12月22日逝去
- 司祭 片田 篤五郎 1956年12月24日逝去
- 主教 ウイリアム 村上 達夫 2016年12月28日逝去
- 司祭 ステパノ 大矢 敬香 1942年12月30日逝去
- 司祭 ステパノ 奥村 亮 1948年12月31日逝去
- 司祭 ヨハネ 桜井 健 1979年12月31日逝去